

授業科目	*精神看護学実習(2020年度入学生)				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU31323J		
開講年次	3~4	開講時期	後期・前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	前田 由紀子、安藤 愛							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>精神科病棟に看護師として勤務した経験を活かし、より実践的な実習内容とする。精神科病棟における患者との対人関係を発展させ、日常生活を整える援助を通して看護の実際を学ぶ。患者のストレスに気づくとともに、セルフケア能力を高める看護を実践する。さらに、看護実践の過程を振り返り自己洞察しうる能力を養う。また、地域への自立支援にむけた看護活動の実際につれ、精神障がい者の地域生活支援について統合的な視点を身につける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神に障害を持つ人への治療と治療的環境について理解ができる。</li> <li>2. 精神に障害を持つ人への理解ができる。</li> <li>3. 患者-看護者関係の発展過程を理解し、治療的かわりを学ぶ。</li> <li>4. 精神に障害を持つ人を受け持ち、セルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行う。</li> <li>5. 精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を理解する。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	55	45	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					15	5	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)					3	2	5	
態度(DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)					2	3	5	
技能・表現 (DP5-1)					10	10	20	
技能・表現 (DP5-2)					20	10	30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルをすべて網羅できたうえで、精神看護学実習を、積極的、主体的に実践できる。受け持ち患者以外にも精神病理(生物学的、力動的)と治療について理解し、セルフケア援助技術や方法を実践することができる。援助家庭の再構成を通して、学生自身の対人関係の持ち方について気づき、自己洞察をすることができる。地域で生活する精神障がい者を理解し、地域精神保健活動の課題と展望を考えることができる。				精神に障害を持つ人を理解し、入院患者の治療と治療的環境について理解ができる。精神に障害がある人を受け持ち、患者-看護者関係の発展過程を理解し、治療的かわりを学ぶ。また、受け持ち患者のセルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行う。精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を理解する。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	閉鎖病棟または開放病棟において、原則として患者1名を持ち、病棟の看護体制に準じて精神看護学実習を行う。指定された2週間で、受け持ち患者の状態と病棟の状況に即して講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。詳細は実習オリエンテーションで配布する「実習要項」を参照する。(前田由、安藤、坂部)	実習:学生は教員および実習指導者の指導・助言を受けながら、主体的に実習に取り組む。	実習前に事前学習として提示する。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでに学んだ精神疾患及び精神看護学に関する講義・演習の振り返りをしておく。			
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	精神看護学演習において配布したプリント 岩崎弥生,渡邊博幸(編)新体系看護学全書 精神看護学概論 精神保健 第5版 メヂカルフレンド社 岩崎弥生,渡邊博幸(編)新体系看護学全書 精神障害をもつ人の看護 第5版 メヂカルフレンド社 南 裕子(編/著) アクティブ・ナーシング 実践オレムアンダーウッド理論 こころを癒す(講談社)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	精神科看護に関する図書やビデオ学習、精神障がい者社会復帰施設などのボランティア参加・見学などの機会を活用して精神医療の理解を深めてください。			
達成度評価に関するコメント	精神看護学実習の事前オリエンテーションにおいて提示します。レポート外の提出物は実習記録物です。「その他」については、実習の取り組み状況を総合的に判断します。事前学習は怠らないように主体的に取り組んでください。また、グループにおける協力・共同は実習効果を上げるものです。グループダイナミクスが発揮されることを期待します。			

